

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	ごみ減量・リサイクル推進啓発事業				事務事業コード	01802	
部 名	市民環境部	課 名	資源リサイクル課	係 名	資源リサイクル係	部課コード	030400

1. 事業概要

総合計画コード	4211				
事業年度	年度 ~	H	年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	
めざす目的成果	市民のごみ減量やリサイクルに対する意識を高め、循環型社会構築の促進が図られている。				
事業内容	啓発冊子・啓発品・収集日掲載パンフレット等の作成、配布 3R活動普及に向けた啓発事業の実施				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 リサイクルプラザ企画運営協議会や3R推進団体等との協働による事業の実施				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		あさか学習お届け講座の開催、小学生対象の3R啓発事業の開催、スーパーマーケット店頭における啓発活動の実施、3R推進月間に伴う啓発事業の実施、ごみ分別パンフレットとごみ減量化啓発チラシの作成、クリーンセンターの施設見学				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		1,254	855	376	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	1,254	855	376		
	b 人件費	5,862	6,962	6,595		
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)	7,116	7,817	6,971		
投入労働量	常勤職員等(人工)		0.80 人	0.95 人	0.90 人	
	一般職非常勤職員等(時間)					
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		需用費 375千円、役務費 1千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 街頭3R啓発活動の実施回数	回	2 (2)	2 (—)	2 (—)	H 32 年度
	② 事業者へのごみ減量啓発活動回数	回	2 (2)	2 (—)	2 (—)	H 32 年度
成 果	① ごみ排出量	トン	38,464 (37,045)	38,336 (—)	38,200 (—)	H 32 年度
	② 1人1日当たりの家庭ごみ排出量	g	603 (580)	597 (—)	592 (—)	H 32 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> ごみ減量化と再資源化を推進するため、市民と事業者に対して、3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関する啓発を継続して実施する必要がある。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 予定していた事業は実施できた。啓発事業は、予定どおり実施し目標は達成できたが、事業者への啓発事業については、成果指標の達成ができなかったため、小規模事業者へのごみ減量・リサイクルの啓発推進を実施していく。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 市民が手軽にごみの減量、資源物のリサイクルに取り組めるように分別の啓発や仕組みづくりを推進した。 参加と協働: 市民、事業者、行政の三者の協働によるごみの減量、リサイクルに努めた。 経営的な視点: 現行の運営経費を上回らないことを前提に、事業の効率化を図れた。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input checked="" type="radio"/> I 見直す余地がない	<input type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> さらに多くの市民がごみの減量・リサイクルなどの関心を持ち、実行していけるよう事業内容にしていける必要がある。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	見直しの方向性	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期 : H 年度)		
	方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	3Rが実践できるよう意識付けするには、子ども期への啓発が重要なことから、子どもに対する啓発事業の充実を図る。小規模な事業所に対して事業ごみの減量・リサイクルの啓発活動を実施し、減量化を進める。外国人居住者へのごみ分別の意識向上を図る。		